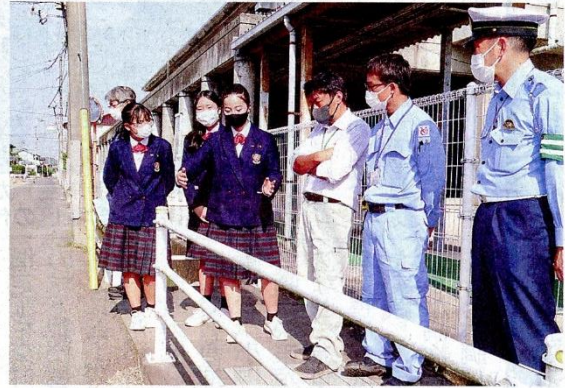


「生徒発見の危険箇所協議」(中国新聞 5月15日付に取組が掲載されました)

神辺中学校生徒会（生活委員会）による、通学路等の危険箇所点検や北署、関係機関との協議を経て現場を視察することができました。以下記事にもありますが、中学生としてできることをしっかり考えていきたいですね。

道が細く通学時に危険を感じる場所を説明する
神辺中の生徒たち



生徒発見の危険箇所協議

神辺中生と福山市や福山北署

福山市神辺町の神辺中の生徒が、2月の通学路の安全点検で発見した危険箇所について市や福山北署などと現場で対策を話し合った。生徒は消えかけている道路標示や、近くの湯田小と通学路が重なる場所を案内し、日頃から感じているリスクを伝えた。

生徒会役員3人が、市職員や同署交通課長、学校教諭たち計9人と巡った。校门近くでは道路の白線が消えかけ、「車や自転車はどこで止まればいいのか分かりにくい」と伝えた。

同小の校門近くの中央線のない道路では、歩いて登校する小学生の列と自転車で通学する中学生の距離が近くなり、接触しそうになると説明。市職員は、白線の引き直しや注意看板の設置を検討すると回答。同署も交通安全教室で交通マナーを周知するとした。

案内した3年古谷優奈さん(14)は「生徒の安全のために一歩前進できた。自分たちの交通マナーも改めて見直していきたい」と話していた。
(東山慧介)

次ページ

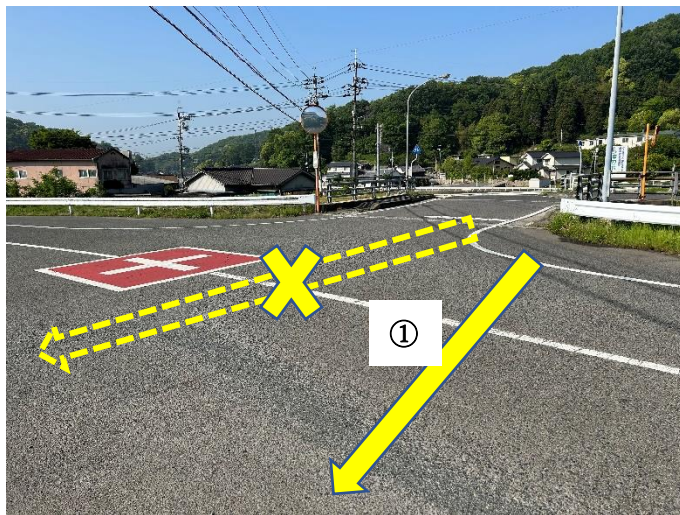
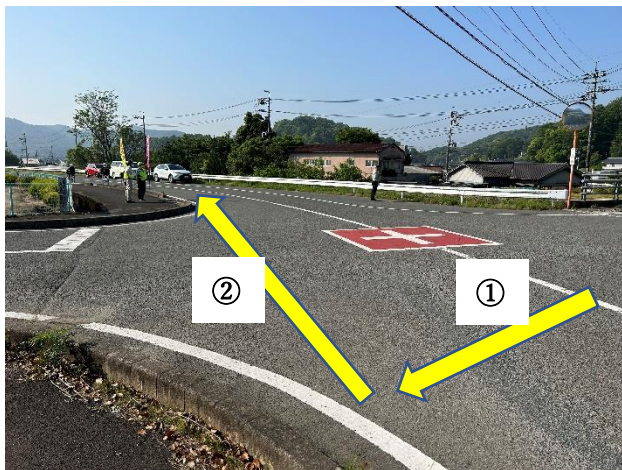
「中学生の交通ルールマナーについて」に続く↓

「中学生の交通ルールマナーについて」

中条地区のある地点の危険箇所について見てきました。8時前からこの道路は交通量が多く、危険なことがわかります。多くの生徒は通学路をきちんと通っていましたが、ただし、「危険」だと感じたのは交通量だけではありませんでした。写真で紹介します。



非常に交通量の多い交差点です。
西から通学した場合まっすぐは危険です。



交差点がありますが、停止線のみで車はあまり止まりません。斜めに横断する生徒がいましたが、危険です。①→②のように2段階で右折しましょう。



この河川敷の道路も通行はできますが、両側にガードレールもなく落下の危険があります。注意してください。



自転車は原則左側通行です。きちんと守ることで安全に通学できます。

横断歩道をわたれば自転車道が見えます。多少遠回りですが、安全のためです。

自転車は「車両」です。運転するということは責任をとります。

また、原則ヘルメットを着用します。命を守る運転マナーを。

教頭 小野

